

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.7	
Q1 室内環境					0.40			3.5	
1 音環境				3.7	0.15	-	-	3.7	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音				4.8	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		T-2		5.0	0.94	-	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.06	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				2.8	0.35	-	-	2.8	
2.1 室温制御				2.6	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.50	-	-		
2 外皮性能				1.0	0.17	-	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.33	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				4.4	0.25	-	-	4.4	
3.1 昼光利用				4.0	0.55	-	-		
1 昼光率		2.5% ≤ [昼光率]		5.0	0.01	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備		トップライト		4.0	0.99	-	-		
3.2 グレア対策				3.0	0.01	-	-		
1 昼光制御				3.0	1.00	-	-		
3.3 照度				2.0	0.00	-	-		
3.4 照明制御		1作業単位で照明制御でき、かつ、端末・リモコン等で調整できる。		5.0	0.44	-	-		
4 空気質環境				3.4	0.25	-	-	3.4	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆をほぼ全面的に使用		4.0	1.00	-	-		
4.2 換気				2.0	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.50	-	-		
2 自然換気性能				-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	-	-		
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.49	-	-		
2 喫煙の制御		喫煙ブースなど、非喫煙者が煙に曝されないような対策が十分に取られている。		5.0	0.51	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.4	
1 機能性				3.6	0.40	-	-	3.6	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				4.0	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		売場の天井高3.3m以上。		4.0	0.35	-	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.29	-	-		
3 内装計画		内装計画の段階で、コンセプトを反映するための取り組みがある。		5.0	0.37	-	-		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		風除室の1次扉と2次扉が同時に開かないように距離を確保している。		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		トイレ毎ないしはフロア毎に清掃用流しを設置している。		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-	3.1	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		会議室:ビニル床タイル、ビニルクロス、GB-D		5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水VP(B)、排水VP(B)、給湯SUS(C)、Eは不使用。		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.2	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA		4.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.6	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めことなく電気配線の更新・修繕ができる。	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	主要設備機器の更新に対応した仮設スペースが確保でき、かつ更新・修繕時に建物機能を維持できる状況。	4.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	バックアップ設備のためのスペースが計画的に確保されている。	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.3
1 生物環境の保全と創出			5.0	0.30	-	-	5.0
生物環境の保全と創出に関して配慮されており、比較的多くの取り組みが行われている。							
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0
周辺のまちなみや景観に対して、充実した取り組みが行われている。							
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			5.0	0.50	-	-	
防犯性の配慮をしている。							
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
-							
LR 建築物の環境負荷低減性			-	0.40	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.20	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.10	-	-	4.0
トップライトを使用							
3 設備システムの高効率化			2.8	0.50	-	-	2.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	
節水コマなどに加えて、節水型便器を用いている。							
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用をしている。	4.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
-							
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20	-	-	
床:ビニル床材、OAフロア、壁:壁面クロス							
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			5.0	0.20	-	-	
「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能							
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.9	0.20	-	-	3.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用			5.0	0.30	-	-	
化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材種別が4つ							
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	硬質ウレタンフォーム2種1号でODP=0、GWP=11を使用している	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			3.7	0.33	-	-	3.7
LCCO2排出率 81%							
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止			5.0	0.25	-	-	
燃焼機器を使用していない。							
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	建物利用者のための適切な量の自転車置場の確保をしている。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	

